

国際文化学科「基礎ゼミナールⅠ」（科目全体評価ルーブリック）

学生番号() 氏名()

履修学年	1年	必修/選択	必修	前期/後期	前期
目 標	(1)英語という言葉や世界の諸事情について学ぶために必要な歴史的見識と国際的視野に立った物事の捉え方を身につけることができる。 (2)英語圏の主な国々を中心に、世界史、世界地理についての具体的な基礎知識を学ぶことができる。 (3)国際文化学科の学びの特性を理解し、国際文化学科学生としての学ぶ姿勢を身につけることができる。 (4)世界各国・地域のタイムリーなトピックを知ること、世界情勢についての見識を深め、興味・関心を高めることができる。				

	内容 項目	レベル 3	レベル 2	レベル 1	レベル評価（学生／教員）	コメント
1	世界の諸事を学ぶのに必要な世界地理の基礎知識	世界の国々の首都や世界遺産がどこにあるか知っている。また、授業で扱った歴史上の有名な出来事についても、十分に理解している。	世界の国々の首都や世界遺産がどこにあるか概ね知っている。また、授業で扱った歴史上の有名な出来事についても、概ね理解している。	世界の国々の首都や世界遺産、歴史上の有名な出来事に関する知識が不十分である。		
2	の歴史や文化などの基	英語圏の歴史や文化に関する基礎知識があり、具体的に説明することができる。また、それらの知識が地域の境界を越えて、お互い関連づけられて理解されている。	英語圏の歴史や文化に関する基礎知識があり、概要を説明することができる。	英語圏の歴史や文化に関する基礎知識が不十分である。		
3	English Workshopの準備と国際交流への参加意欲	クラスメートと協力しながら、意欲的に事前準備に取り組んだ。そして、ワークショップ当日は、積極的に国際交流を図り、英語コミュニケーション力の向上に努めた。	事前準備やワークショップ当日の活動において、自分なりに頑張ったつもりであったが、振り返ると改善の余地がある。	事前準備やワークショップ当日の活動において、取り組む姿勢が消極的だった。		
4	世界情勢についての基礎知識	現在、世界の国々や地域で起こっている問題に関して、地理的、歴史的、社会的背景を含め、正確で具体的な知識を有し、それについて自分の意見を述べるることができる。	現在、世界の国々や地域で起こっている問題に関して、地理的、歴史的、社会的背景を含め、概要を述べることができる。	現在、世界の国々や地域で起こっている問題に関して、知識と理解が不十分である。。		